

第二十四回帝國議會 衆議院 地租條例中改正法律案外二十九件委員會會議錄(速記)第五回

會議

明治四十一年二月三日午後一時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

栗原 亮一君	松浦 五兵衛君	野田 卯太郎君
古井 由之君	菅原 傳君	奧野 市次郎君
栗塚 省吾君	北村 左吉君	濱名 信平君
森本 駿君	大岡 育造君	田中 定吉君
永島 龜代司君	武市 庫太君	木暮 武太夫君
多田 作兵衛君	内山 吉太君	中倉 万次郎君
上埜 安太郎君	池田 惟貞君	松田 吉三郎君
安田 勳君	内藤 利八君	大石 熊吉君
齋藤 良輔君	藤澤 幾之輔君	大津 淳一郎君
大熊 三之助君	木村 半兵衛君	合田 福太郎君
關 直彦君	關野 善次郎君	横田 虎彦君
紫垣 一雄君	鈴木 總兵衛君	久保 伊一郎君
竹内 正志君	三井 忠藏君	服部 小十郎君
濱田 國松君	早速 整爾君	淺野 陽吉君
愛澤 寧堅君	川真田德三郎君	

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 松田 正久君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 水町袈裟六君 大藏省主税局長 櫻井鐵太郎君
大藏書記官 菅原 通敬君 司法次官法學博士 河村讓三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

酒造稅法中改正法律案(政府提出)

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)

麥酒稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

石油消費稅法案(政府提出)

關稅定率法輸入稅表中改正法律案(政府提出)

○委員長(栗原亮一君) ソレデハ會ヲ開キマス、酒ニ關スル質問ハ一通リ終リマシタカラ、今日ハ此砂糖消費稅、石油消費稅ニ付テノ政府ノ説明、ソレガ濟ンデ御質問ガアリマスレバ御質疑ヲナサルヤウニ……砂糖ノ方カラ説明ヲ先キニ……

○淺野陽吉君 説明ノ前ニ一言シマス、説明ノ便宜ノタメニ砂糖ト石油ヲ併セテ願ヒタイ

○委員長(栗原亮一君) ソレデハ併セテ願ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 砂糖消費稅法中改正及石油消費稅ニ付テ大体ノ説明ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、砂糖消費稅法中ノ改正ハ此案ノ通り稅率ノ改正ノミデアリマス、稅法ノ其他ノ規程ニ至リマシテハ別段ニ改正ヲナサズ續リデアリマス、此砂糖消費稅ヲ増徴スルト云フコトニ付キマシテハ、此處ニ立テマシテ計畫ヲ申上ゲマスルト云フト砂糖消費稅ハ現行ニ於キマシテハ、第一種ノ稅率ガ百斤ニ付二圓、其二圓ヲ二圓、ソレカラ第二種ノ稅率ト非常特別稅ヲ併セマス、百斤ニ付現行四圓四十錢ニナリマス、ソレヲ五圓五十錢、ソレカラ第三種ノ稅率ガ現行ノ稅率ガ六圓五十錢デアリマス、ソレヲ八圓五十錢、第四種ノ稅率ガ現行ノ稅率ガ七圓五十錢アルノヲ拾圓、即チ一種カラ四種ニ至ル間ニ於テ、一圓カラ二圓五十錢ノ增率ヲスルト云フ計畫デアリマス、ソレデ此增率ヲ致シマスニ付テ、一種ヨリ四種ニ至ル各種ノ砂糖ノ間ノ稅率ノ増方ハ單純ニ現行稅率ニ何割ト云フヤウナ一率ニ簡單ニ増シデアリマセヌノデ、御一見ニテレバ分リマスガ、一種ニ付テハ割合ヲ申シマス、百斤ニ付テ二圓ガ三圓ニナリマスカラ五割ノ増、二種ニ付テハ二割五分程ノ増、三種ニ付テハ三割程ニナリマス居リマス、四種ハ二割三分程ニナリマス、斯ウ云フ割合ノ違ハ稅率ヲ茲ニ定メタル云フコトヲ簡單ニ申上ゲヤウト思ヒマス、砂糖ノ稅率ハ定率ト第一回第二回ノ非常特別稅ノ増徴ガアリマシテ、一回二回ニ各種增稅ニナッテ居リマス、其結果今日ノ稅率ニナッテ居ルデアリマスガ、是迄ノ砂糖ノ消費稅ヲ增徴致シマシタ時ノ成行ヲ考ヘマス、非常特別稅ノ定率ニ對スル割合ヲ考ヘマス、第一種ガ十割、第二種ガ十七割五分、第三種ガ十九割五分、第四種ガ十七割七分、斯ウ云フ割合ニ定率ニ對シテ非常特別稅ガ増徴サレテ居ル、然ルニ第三種ガ一番定率ニ對シテ非常特別稅ガ掛ッテ割合ガ強イ、十九割五分ニ當リ、今回砂糖ニ付テ増收ヲ圖ラネバナラヌト云フ必要ガ起リマシテ、此砂糖ノ各種間ノ稅率ヲ鈎合テ良クスルニハ、斯ウ云フ風ニ割振ッタルハ宜カラウカト云フコトヲ考ヘマシテ、先ヅ非常特別稅デ一番餘計掛ッテ第三種ノ砂糖ヲ中心トシマシテ、之ニ三割ヲ増徴スル、斯ウ云フ事ニシテ、ソレカラ他ノ一種二種四種ノ鈎合ヲ取ツタノデアリマス、ソレデ粗糖即チ一種二種トノ稅率ハ第一次ノ増徴ノトキニ政府ノ提出シマシタ案ニ依リマス、第一種ハ一圓、第二種ハ一圓四十錢ノ増徴ヲシヤウト云フ提案ヲ致シタノデアリマスガ、議會ニ於テ第一種ハ一圓、第二種ハ三圓、斯ウ云フ風ニ修正ニナッテ、第二種ノ稅率ガ餘程高クナッテ、一圓四十錢ノ原案ニ對シテ三圓ト云フコトニ修正サレタノデアリマス、ソレ故ニ吾々ノ考ヘルトコロニ依レバ此第一種第二種ノ鈎合ガ惡クナッテ思フノデアリマス、ソレガタメニ第二種糖ノ製造業ニハ餘程負擔ガ重ク掛ッタル云フ形ニ見エタルデアリマス、第二次ノ增稅ノトキ政府ノ提案ヲ申シマス、第一種ハ五十錢、第二種ハ二圓三十錢ト云フ提案ヲ致シマシタガ、是ニ對シテ議會ノ修正ニ依リマス、第一種ハ一圓、第二種ハ二圓八十錢、斯ウ云フ修正ニ極ツタノデアリマス、ソレ故ニ第一種二種ノ鈎合ハ政府ノ考ヘテ居リマス、コレデ依然トシテ鈎合ガ取レテ居ラナイ、斯ウ云フ考ヨリ致シマシ

今回ハ第二種ノ方デハ割合輕ク、第一種ノ方ニ割合ヲ少シ強味ニ掛ケテ、一種二種
間ノ權衡ノ取ルヤウニ茲ニ發案ヲ致シテ次第第ゴザイマス、第四種ニ至ッテハ先刻申
シマス通り三割三分程ニ當リマス、斯ノ如ク致シマシテ稅率ヲ増シテ參リマス、其結
果入リマスニコロノ砂糖ノ消費稅ノ收入ハ前同申シタコトガアリマスガ、四十一年度
ニ於テ凡ソ二百八十六萬圓バカリ增收ガ、是ニ依リテ得ラル、コトナリマス、此增收
ノ計算ヲ致シマスニ付テハ増稅ノ結果ハ必ズ此消費稅ニ付テハ消費減ヲ見テ計算シナ
ケレバナラヌト思ヒマスカラ、各一種カラ四種ニ至ルマデツレ、増稅ヲ致シマスニ
テハ一割位ノ消費減ハ起ルト云フコトヲ見込ミマス、又此一割ト云フ見込ヲ立デマシ
タ中ニハ、消費稅ノ増徴ト云フコトニナレバ、必ズ見越輸入ト云フコトモ幾分有ルト覺悟
シナケレバナリマセヌカラ、收入ノ確實ノ期スルタメニ、ソレ等ノ點ヲ見込シテ、凡ソ一割
位ハ消費減ト見込シテ、確實ナル收入ヲ得ルヤウニシヤウト云フ計算デ、此改正案ガ立
案サレテ居リマス、此法律モ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス、斯ウ云フコトニシマシタ、是ハ前
ノ改正法案ノトキニ述ベマシタト大体同様ナル理由デアリマシテ、殊ニ此砂糖ニ付キマシ
テハ、外國ヨリ入ッテ來ル見越輸入ト云フコトガ是迄モ増稅ノ際ニ於テ屢々見タ例デア
リマスカラ、政府ノ收入ヲ確實ニシ又商業界ノ秩序ヲ紊サヌヤウニ此法律ハ確定
次第、直チニ施行ニナルト云フコトガ相當デアル、斯ウ云フコトカラ此法律ガ公
布ノ日ヨリ之ヲ施行スト云フコトニ立案サレタ趣意デアリマス、ソレカラ石油ノ消
費稅ニ付イテ申上ゲマスルガ、石油ノ消費稅ハ是ハ新ニ起シマスニコロノモノデアリ
マシテ、茲ニ條文ノ規定ガアリマスルカラ、最早御承知ノコト、存ジマスルケレドモ、大体ノ
大要ヲ申上ゲマス、先ツ稅率ハ一石ニ付イテ一圓ヲ課スル、ソレカラ外國ニ輸出シマ
ストコロノ石油ニ消費稅ヲ課サナイ、ソレカラ稅金ハ石油ノ製造場トカ又ハ外國カラ這
入ッテ來マス石油ニ付テハ、稅關ヲ通過シタルトキ、又保稅倉庫ニ這入ッタル石油ハ保稅倉
庫カラ引取ルトキニ消費稅ヲ課スル、ソレカラ又商業者ノ便利ヲ圖リマスルタメニ一ツノ
製造場カラ外ノ製造場ヘ石油ヲ送ル、又ハ石油ノ置場ヘ石油ヲ移スト云フヤウナトキ
ニハ、稅ヲ拂ヒマセヌデ、一ツノ場所カラ一ツノ場所ヘ移スコトモ出來ル、是ハ政府ノ承認
ヲ與ヘテヤラセルコトヲ勝手ニヤラセデハナリマセヌ、サウ云フ風ニ致シテ成ルベク商人ガ稅
金ヲ拂フノニ遲ク拂フモ濟ムヤウニ、斯ウ云フ便宜ヲ開イタノデアリマス、ソレカラ又擔保
ヲ提供シマス、三箇月間ハ稅金ノ徵收ヲ猶豫スル、斯ウ云フ規定ヲ設ケマシタ、先ツ
大體大要ハ今申上ゲマスルヤウナ所ガ要點デアリマス、ソレカラ之ニ依ッテ這入リマスルコ
ロノ收入ハ百五十六萬圓以上ヲ收入スル、此石油ノ消費稅ハ徵稅方ガ頗ル簡便デア
リマシテ、徵稅費ヲ餘計ニ要セズ且確實ナル收入ヲ得ル見込ガアルニコロノ稅ト存ジマ
ス、且又一石一圓ト云フ割ハ至ッテ輕微ナル負擔ト思ヒマスカラ、一般消費者ニ重イ
負擔ヲ命ズルト云フコトニハナリマセヌカラ、相當ナル稅源ト考ヘテ、此案ヲ立案サレタノ
デアリマス、此法律モ同ジク公布ノ日ヨリ施行スルト云フコトニ定メ居リマスガ、是モ前ニ
述ベマシタニコロノ各法案ノ制定ノ趣意ト同様デアリマス、簡單ニ立案ノ趣意ヲ申上ゲ
テ置キマス

○大津淳一郎君 此參考書ト云フモノガ澤山アリマスルガ、一應拜見致シマシタガ、砂
糖ニ付テ一見瞭然ニ見タイト思ヒマスルノハ、各種糖ニ付テ内地ト臺灣ト何程府縣別

ニマデニ及ビマセヌガ第一種糖ノ產額ハ何程、第二種糖ニ付テモ同様、第三種位マデ其
先ハ多分内地ヲ精製ニナラウト思ヒマスカラ、精製デハナイ粗糖即チ原料ノ產額ヲ内地
ト輸入トノ比較ヲ承リタイ、是ニハ一種糖、二種糖、三種糖ノ内地產ト一種糖二種
糖三種糖ノ輸入額ノ調ベガナイヤウデアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイ、又外國糖ヲドレデケ
仰ガナケレバ内地ハ粗糖ノ產額ガ足ラヌカト云フコトハ、生産力ノ上ニ於テモ大ニ關係
ガアルシ、稅ノ上ニ於テモ積方ニモ關係ガアリマスカラ承リタイ

○政府委員(菅原通敬君) 最近三十九年デ申シマスルガ、三十九年ノヤツハ内譯
ガ出來テ居リマセヌデ、唯總計タケテ三十九年度ノ内地產ノ甘蔗ヲ以テ製造シタル砂
糖、是ハ第一種ガ八千萬斤、第二種ガ十一萬斤、第三種ガ一萬二千斤、第四種ガ
三萬七千斤、總計八千三十三萬斤、之ガ三十九年ノ内地ニ於ケル甘蔗糖ヲ以テ製造
シタル砂糖デアリマス、ソレデ其内地ノ中ノ臺灣ハ幾許デ琉球ガ幾許デ、大島ガ幾許デ
アルト云フコトノ内譯ハ此處ニ持ッテ居リマセヌガ、丁度三十八年度ノ調ベノ數ガ分ッテ
居リマスカラ、ソレヲ申上ゲマス、第一種ニ付テ申シマスル、内地ガ二千七百萬斤、
臺灣ガ八千三百萬斤、其他琉球小笠原島ト云フモノヲ合セマシタ島嶼ノ分ガ四千
五百万斤、ソレカラ第二種ニ付テ申シマス、内地ガ六百八十七萬斤、臺灣ガ三萬二
千斤、島嶼ガ二千六百斤、割合ハ其邊ノ所デゴザイマス

○大津淳一郎君 第一種デハ内地產ハ二千七百萬斤、臺灣ガ八千三百萬斤、ソレ
カラ島嶼ガ四千五百万斤、ソレカラ第二種デハ内地ガ六百八十七萬斤、臺灣ハ三萬二
千斤……

○委員長(栗原亮一君) 細カナ數ニ互リタルコトハ書類ニデモシテ御廻シテ願ヒマス、
次キハ石油ノ質問ニ移リマス

○久保伊一郎君 農家ノ方デ蟲害驅除ニ用井マス石油ガアリマスガ、是ハ餘リ點燈
用ニハ向カナ極ク惡イモノヲ使用シテ居ル地方ガアリマスガ、是モヤハリ本法ニ依ッテ
課稅スルト云フコトニシテ、サウ云フモノニモ課稅スルト云フ立法ノ趣旨ニナッテ居リマ
スカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今久保君ノ御尋デアリマスガ、消費稅ヲ掛ケマス燈
油ト云フノハ「ランプ」ニ點ケ得ラル、點ケルコトノ出來ル油、ソレニ課稅スルノデアリ
マス、燈油デアリマスカラ、御問ノ如ク「ランプ」ニ點ケル害蟲驅除ニ使ヒマシタトキハ、此
法律デハ免稅スルコトニナッテ居リマセヌソレデ害蟲驅除ノコトヲ農商務省ノ當局ニ付
テモ能ク聞イテ見マシタガ、ソレニ依リマス、石油ヲ使ッテ效能ノアルノハ浮塵子デ、他
ニハサウ使ハヌト云フコトデアリマス、ソレヲ使フ場合ハ二ハドノ位ノ分量ヲ使フモノカト尋
ネテ見マシタガ、日本全國デドノ位ノ數量ヲ使フカト云フコトハチヨット分ラヌノデゴザイマ
スケレドモ、水田ノ浮塵子ヲ驅除スルタメニ石油ヲ使フ分量ハ、ドノ位カト尋ネマシタラ
バ、一段歩ニ付テ石油ナラ一升五合位、重油デアレバ一升五合ノ七割位デ宜イサウデ
アリマス、唯今申シタノハ本田ニ付テ一段歩ノコトヲ申シタノデスガ、苗代ナレバ右ノ十
分ノ一位デ足リルト云フコトデアリマス、サウ云フヤウナ譯デ一升五合ヲ以テ一段歩ニ當
テルニ足り且浮塵子ノ發生ト云フコトモ年ニ依リテ諸所地方ヲ變ヘテアチコチ被害ガア
リマスノデ、全國ノ何分ノ一カデアッテ總テ浮塵子ニ罹リテ石油ヲ用井ナケレバナラヌト云

フヤウナコトハ先ツナイコトデアリマス、時ニ用井ルニ止マルモノデアリ、且ツ一升五合ト致シタトコロデ、サウエライ是ガ負担ノ掛ルモノデハナカラウ、斯様ナコトカラ農業上ノタメニ免稅ヲスルコトニナルト、少ナカラヌ手數モ掛ルコトデアリマスカラ、別段ニ此途ヲ開カナカッタ次第デアリマス

(「モウ質問ガ終ッテヤウデス」ト呼フ者アリ)

○委員長(栗原亮一君) 三稅ヲ便宜ノタメニ一括シテ議題ニ供シマス其中ニ御質疑ガアリマシタラ討論中ニ於テ御質疑ナサレコトハ差支マセヌカラ……

○早速整爾君 委員長ニチヨット希望ガアリマス、唯今委員長ノ御言葉ニ依ルト、三稅ヲ一括シテ議題ニ供シ直チニ討論デモセラル、ヤウナ意味ニ承ハタノデスガ、ソレハ少シ御中止ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレハ他ノ稅制整理ノ問題ガチヨット此間出タノミデアリマス、私ハ稅制整理ノ大体ニ付テ、少シ政府ニ確メタ上デナケレバ討論ニ移ルコトハ(ソレハ濟シカラデモ宜イ)ト呼フ者アリ(サウハ往カヌノデス、大變關係ガアル、ソレデ此増稅問題モ、サウ一日ヤ二日ヲ爭ハナケレバ、ナラヌト云フ譯デアリマスマイカラ、稅制問題ニ付テ大体ノ質問此場合許シテ戴キタイ)(「無用々々」ト呼フ者アリ)無用デナイ、稅制整理ト云フコトハ、增稅ニ大關係ヲ有シテ居ル

○委員長(栗原亮一君) 稅制整理ノ方ハ一先中止シテ此增稅デケラヤルト云フコトニ既ニ決シタノデスカラ、混雜シマスカラ……

○早速整爾君 議事ノ順序ハサウナツテ居ル

(「滿場一致決シテ居リマス」ト呼フ者アリ)

○早速整爾君 ドチラデモ宜イガ、增稅意見見ラ極メルニ、質問シテ置カヌト困ルコトガアル

○委員長(栗原亮一君) 御質問ガアレバ討論中ニ質問ヲナサルノハ差支ハアリマセヌ——直チニ討論ニ移リマス

○大熊三之助君 私人質問ハ一分間位デ濟シマス

○委員長(栗原亮一君) 總テ聯帶ノ問題デアリマスガ、是ガ極レバ從ッテ自然ノ結果ニナリマスカラ、三稅ヲ決シタ方ガ便宜ト思ヒマス

○淺野陽吉君 既ニ政府ガ非常特別稅ノ期限ノ充テタル場合ニ於テ當然其廢止ヲ行ハナケレバナラヌト云フトキニ、戰時稅ノ繼續ヲ行ヒタルハ戰後ニ於テノ增稅ナリト私ハ思フソレニモ拘ハラズ稅制整理ノ效果ヲモ舉ゲズシテ、今更ニ此增稅ニ取掛ルト云フコトハ最早小サキ條文ノ爭デハナイト思フテ居リマス、ソレ故ニ本會ヲ開カレマシテヨリ今日マデ私ハ一言ノ質問ヲモ試ミナカッタデアリマス、此問題ノ可否ヲ決スルニハ大体ニ於テ決スレバ可ナリト思フテ居ル、根本ニ於テ決スレバ可ナリト思フテ居ル、其内容ノ小サキ事柄ニ至リテハ最早問フノ必要ハナイト私ハ確信シテ居ルデアリマス、ソレ故ニ簡單ニ私ハ意見ヲ述ベタイト思フノハ、三稅案共ニ絶對ノ反對デゴザイマス、凡ソ增稅ヲ數回重ネテ爲ストキニハ、國民ニ對シテ餘程申譯ガナクテハナラヌト思フデアアル、ソレハ豫算ノ上ニ於テ增稅ヲ行ハナケレバ如何ニシテモ豫算編成ノ出來ナイ、窮迫ノ事情ニ立至ッテ居ルト云フコトガナケレバナラヌト思ヒマス、第二ニハ數回、增稅ノ上ニ今回ノ增稅ヲ國民ニシテ耐エ忍シテ與レルナラバ、將來ノ財政ハ是ニ依ッテ基礎鞏固ナリト云フ

保障ヲ與ヘナケレバナラヌト思フ、此二ツノ事實ガナカタナラバ、今回ノ增稅ハ徒ラニ民ヲ苦マシムルモノト思ヒマス、是ガ小サキ事柄ニ付テ既ニ問フノ必要ナシト思フタ次第デアリマス、然ルニ今回ノ豫算案ヲ見デ見マスルト、何處ニ增稅シナケレバナラナイ必要ガ迫ッテ居ルデアラウカ、孰レノ所ニ增稅シナケレバ豫算編成ノ出來ナイ切迫ノ事情ガアルノデゴザイマセウカ、大藏大臣ハ明カニ現在ノ剩餘金三千三百萬圓アルノハ、四十二年度ニ繰入レルト云フコトヲ明言シテ居ル、之ヲ繰入レタナラバ、僅ニ九百六十九萬圓ノ增稅ハ少シモ必要ハナイデアリマス、又既ニ一億二近キ事業繰延ヲスル以上ハ、僅ニ四五百萬圓ノ目腐レ金ノ繰延ノ出來ナイコトハ少シモナイト私ハ思フデアリマス、剩餘金ノ點ニ於テモ、事業繰延ノ點ニ於テモ、四十一年度ニ於テ增稅ヲ爲スベキ必要ハ少シモ迫ッテ居ラヌデアリマス、内閣ニシテ眞ニ國民ヲ憂フル誠意ガアルナラバ、增稅ノ如キ事柄ハ一年タリトモ延バスガ宜シイデアアル、ソレカラ又僅ニ一箇年ノ收入ニ於テ一千万圓足ラズノ收入ヲ得ル增稅ヲシテ、如何ニシテ將來ノ財政ハ之ニ依ッテ基礎鞏固ナリト云フ保證ヲ國民ハ得タノデアラウカ、何レノ所ニ於テモ保證ハ得テ居ラヌデアアル、今後五六千万圓ノ歲入不足ハ明カニ事實ガ證明シテ居ル、水町次官ノ明言ニ依ッテモ此事ハ推測サレルノデアリマス、又我國ノ豫算ヲ一通リ見ル眼識アル者ハ、如何ナル人デモソレハ判斷スルコトガ出來ルデアリマス、ソレガ僅ニ一千万圓足ラズノ一年間ニ收入見込アル增稅ヲシテ、將來ノ財政ヲ救フト云フコトハ出來ナイデアアル、シテ見レバ、增稅ノ趣意ニ於テモ相變ラズ日本ノ財政ハ不安心デアリマス、基礎甚ダ薄弱デアリマス、唯國民ハ增稅ニ苦シメラ、ノミデアルト私ハ思フ、ソレ故ニ此三稅案共ニ反對ヲ致シマス、既ニ此委員會ノ趨勢ハ採決ヲ經ナクモ大勢既ニ明ニアルデアリマス、私ハ委細ノコトハ述ベヌデアリマス、ソレカラ此增稅ノ彈力ハ如何デアルカ、果シテ將來ノ財政ヲ救フニ足ルヤ否ヤ、國民ヲシテ其苦痛ヲ忍バシメテ害ガナキヤ否ヤト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、彈力ハ思ヒノ外私ハ少ナイト思フ、既ニ酒ノ稅ニ於テ證明シテ居リマス、數回增稅ヲ重ネタ末ガ造石高ニ於テモ最早殖エナイデアアル、從ッテ收稅ノ金額ニ於テモ既ニ殖エナイデアリマス、最早租稅ノ負擔力ハ其絶頂ニ達シテ居ルデアアル、砂糖ニ於テモ亦然リト私ハ思フ、石油ハ唯今大藏省ノ説明ニ依レバ誠ニ輕微ナ稅デアルカラ、是ハ決シテ無理ナ稅デハナイト云フ御話デアリマスガ、我國ノ石油業ハマダ微弱ナル、事業アル事業發達ノ程度ニ較ブレハ決シテ輕微ノ稅デハゴザイマセヌ、ソレ故ニ此稅ノ結果ハ産業ヲ苛メルノミニシテ決シテ財政ヲ救フデケル彈力ヲ有スルモノニアラズト私ハ思フテ居ル、此點ニ於テモ反對ヲ望ミマス、ソレカラ其次ニ概略ヲ述ベテ置キタイノハ、内閣並ニ政友會ノ諸君ガ、此案ニ贊成シテ是非トモ押通サウトナサルコロノ眞意ニ對シテ私ハ甚ダ遺憾ヲ感ズルデアリマス、酒ノ稅モ、石油ノ稅モ、砂糖ノ稅モ、如何ニ殖シテモ中産以上ノ者ノ苦痛ハ少シモナラヌデアリマス、下層社會ノ苦痛トナル稅デゴザイマスル是ハ——其最モ多ク苦痛ヲ感ズル所ノ如キ消費稅ハ如何ナル人ガ負擔ヲスルデアラウカ、果シテ我國ノ選舉法ニ於テ代議士選舉ノ權利アル者ガ負擔スルデアラウカ、最モ苦シム者デアラウカ、此稅ノ爲ニ苦シム者ハ代議士選舉ニ付テハ何等ノ權利モナキ即チ贊政權ヲ有セザル者ガ最モ苦痛ヲ感ズルノデゴザイマス、此點ニ對シテ乘ゼラルルト云フコトハ、政事家トシテ其行動ヲ甚ダ私ハ惜ムノデゴザイマス、是等ガ私ノ反對スル

要點デゴザイマス、簡單ニ此三案ニ對シテ絕對ニ反對ヲ表シテ置キマス
○委員長(栗原亮一君) 淺野君ノ說ハ三種ノ増稅案ニ就テ總テ反對スルト云フ意見
見デスナ

○淺野陽吉君 皆反對デス

○委員長(栗原亮一君) 此淺野君ノ說ニ贊成ガアリマスカ
(贊成々々ト呼フ者アリ)

○委員長(栗原亮一君) 御贊成ガアリマスレバ起立ヲ……

○早速整爾君 我ハ淺野君ノ二稅ノ總テ反對スルト云フ御意見ニ同意ヲ表スルモノデアリマス、大體ノ趣意ハ淺野君カラ陳述サレタデアリマスカラシテ私ハサウ諄々シクハ申述べ積リテアル、唯贊成スルト云フ要領デケテ申述べ置キタイと思フ、政府委員ノ此委員會デ御説明ニナッタ此増稅ノ理由ト云フモノニ付テハ、私共ハドウシテモ之ニ首肯スルコトハ出來マセヌ、唯財政ノ鞏固ヲ圖ルトカ或ハ已ムヲ得ヌト云フ一點張リデドウシテモ増稅シナケレバナラヌト云フコトヲ御説明ニナッタデゴザイマスルガ、私ハ先刻申述べマシタ如ク財政ノ基礎ト云フモノハ國民ノ實力ニアアルデアツテ、民力ヲ涸渇セシメテモ尙且財政ノ鞏固ト云フコトカ出來ルデアリマスカ、今日國民ガ非常ニ重キ負擔ニ苦シミ、重キ負擔ニ泣キツ、アル場合ニ當ツテ、更ニ此重キ稅ヲ行フト云フコトハ、決シテ國民ノ實力ヲ養フ所以ノ途デハナイ、民間ノ經濟社會ノ調和ヲ圖ル所以ノ途デハナイ、即チ國民ノ力ト云フモノヲ寧ろ涸渇セシムル所以ノ途デゴザイマスカ、此點ニ於テ財政ノ鞏固ヲ圖ルト云フモノハ、大體ノ議論ト云フモノガ、私共ハ之ヲ首肯スルコトガ出來マセヌ、國民ハ唯租稅ヲ製造スルコトヲ機械デハナイノデ、政府ガ已レノ立テタル財政計畫、即チ吾々カラ見レバ實ニ此彌縫ヲ事トシテ、一時ノ遺線ヲスルト云フヤウナ根本ノ鞏固ナラザル財政計畫ノ下ニ此以上尙國民ヲ苦メルト云フコトハ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フ大體ノ趣意トハ相反シテ居ルト私ハ思フテ居リマス、故ニ政府ガ唱フルトコロノ増稅ノ必要、増稅ノ理由ト云フモノハ、私ハドウシテモ之ヲ認ムルコトガ出來ナイ、已ムヲ得ヌト云フ言葉ガアリマスルガ、是ハ淺野君カラモ辯明サレタ如ク、政府ノ財政ノ方針ト云フモノガ確立シテ、今少シ此財政ノ計畫ト云フモノヲ變更スルト云フ精神ガアルナラバ、全體ノ經費ノ上ニ於テ節約ト云フコトヲモ出來得ルデアラウ、政府ハ繰延ヲヤルト云フガ姑息ノ繰延ヲ行ハズシテ根本カラ今少シ手腕ヲ振ハル、ナラバ、二千萬ヤ三千万ノ歲入ノ不足ヲ補フ途ハ之ヲ講ズルニ於テ幾ラモ方法ガアルト考ヘル、決シテ已ムヲ得ザルニ出デタル増稅デナイ、今少シ財政計畫ヲ根本カラ致シタナラバ、國民ヲ苦メズシテ財政ノ基礎ヲ固クシ、歲出入ノ權衡ヲ圖ル途ハアルデアラウト思フテ居ル、故ニ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フ理由、財政上已ムヲ得ナイト云フ理由、此等ノ理由ハ吾々ハ之ヲ認メルコトハ出來ナイノデ、根本ニ於テ増稅ノ必要ナシト云フ意見ノ下ニ、私ハ増稅ニ反對セザルヲ得ヌデアアル、而シテ四十一年度ニハ五百萬圓ノ歲入不足ニ對シテ、本年度ノ剩餘金ノ内二千三百萬圓ヲ、四十二年度ニ繰入スルト云フ政府ノ公言デアアルガ、會計法ノ條規ニ反シテ居ル、二千三百萬圓ノ剩餘金ガアレバ四十二年度ニ増稅ヲ行フ必要ハナイ、會計法ノ條規ニ反シテマデモ、増稅スルニ付テハ、政府ナルモノ、無責任ヲ咎メザルヲ得ナイ、成程政府ノ言フ所ヲ聞ケバ數年ノ繼續

費デアラカラ前以テ増稅ヲ行ハナケレハ困ルト云フデアアル、ケレドモ増稅ヲ行フト云フコトハ國家ノ重大問題デアラカラ、剩餘金ガ茲ニアルニモ拘ハラズ、ソレデ増稅ヲ行フト云フニ付テハ、餘程ノ理由ガナケレバナラヌノニ、唯政府ノ事情ガ翌年度ニナッテハ困ルカラト云フ都合向キノタメニ、會計法規ヲ無視シテ増稅ヲスルノハ、條理ノ上カラ私共ハ反對ヲシナケレバナラヌデアアル、即チ少ナクモ四十二年度ニハ増稅ノ必要ナシ、而シテ増稅ヲ行フトハ寧ろ違法デアルト私ハ斷言シテ差支ナカラウト思フ、ソレカラ次ニ此増稅ノ收入ト云フコトニ付テハ、淺野君カラモ述べラレマシタガ、私ハヤハリ此點ニ付テモ反對シナケレバナラヌ、前日ノ會議ニ於テ政府委員ニ向ッテ質問シ、政府委員カラモ御答辯ガアリマシタガ、免二角答辯ト云フモノハ人ニ依ッテ答ヘルトコロガ違ッテ居ル私共ハ立派ニ其趣意ヲ諒スルコトハ出來マセヌガ、稅法審査委員會ガ酒ニ付テ此以上稅ヲ増セバ、收稅ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイト云フコトヲ一年前ニ言ッタ審査會、此ノ意見ハ、私共同意スルトコロデアアル、此以上増稅ヲ行フタナラバ、消費高ヲ減ジテ收入ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フコトヲ私ハ憂ヘテ居ル、政府ノ自カラモ亦之ヲ知ッテ居ルト見ナケレバナラヌ、而シテ尙且此増稅ヲ行フト云フコトハ、縱シ増稅ヲ行フトコトガ必要デアルトシテモ、斯様ナル稅源ヲ選ムハ危險ノ至リデアアル、豫期ノ收入ガ果シテアルカ、増稅ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルヤ否ヤ疑問デアアル、疑問デアラナラバ、甚ダ危險ナル増稅案ト本員ハ考ヘル、此點ニ對シテモ此増稅案ハ吾々ハ同意スルコトガ出來ナイデアアル、次ニ此消費稅ハ誠ニ稅源トシテハ良イト云フコトヲ政府委員ハ度々申サレマシタガ、此點ニ於テモ吾々ハ意見ヲ異ニシテ居ル、吾々ノ考フルトコロニ依レバ、消費稅ハ一般ノ國民ニ對シテ負擔ヲ課シ、一般ノ國民ニ對シテ非常ニ苦痛ヲ與ヘル稅デアリマスカラシテ、殊ニ下級ノ人民ニ對シ重キ負擔ヲ課スル稅デアリマスカラ、吾々ハ此點ニ付テ消費稅ハ最モ惡イ稅ト思ッテ居ル寧ろ中以上ノ者ニ輕クシテ、中以下ノ者ニ對シテ重キ稅ヲ課スル、此消費稅ハ縱シ私ハ増稅ノ必要アルトシテモ、最モ惡キ稅源ナリト言ハザルヲ得ナイデアアル、然ルニ政府ハ間接稅デアラカラ便利デアアル差支ナイト云フボンヤリシ理由ノ下ニ是等ノ稅源ヲ選シテ増稅ヲ行フト云フコトヲ計畫セラレタノハ、實ニ國民ニ對シテ、不親切デアアル、又不信ナル處置デアルト斷言セザルヲ得ナイ、今日デハ砂糖ノ如キ、酒ノ如キ實ニ人生必要ノ品物デアツテ、殊ニ石油ノ如キハ細民ノタメニ最モ必要ヲ感ズル品物デアリマスガ、此人生必要ナル品物ニ對シテ消費稅ヲ課スルガ宜シイ、惡クナイト云フ政府ノ見解ハ果シテ何ニ基イタノデアアルカ、私ハ消費稅ヲ選シタト云フコトニ關シテモ絕對ニ政府ノ意見ニ同意スルコトガ出來ナイノデ、折角政府ガ糖業ヲ獎勵シ、石油業ヲ獎勵セント云フ趣旨ニ反シテ、其事業ニ打撃ヲ與ヘルコトハ云フマデモナイ或ハ輸入ヲ獎勵シ或ハ輸出ヲ防遏スル事業社會ノタメニ誠ニ不利益デアルト云フコトヲ言ハナケレバナラナイノデ、是デモ消費稅ガ非常ニ不利益デアアル非常ニ便利デアルト云フ政府ノ意見ハ、吾々ハ迎ヘナケレバナラナイノデアラウカ、私ハ事業社會ノタメニ是等ノ消費稅ヲ課スルコトハ、寔ニ不利益不幸ノ甚シキモノデアルト斷言致シタイと思フ、斯様ニ人世必需ノ品物ニ對シテ消費稅ヲ課シ、人民ノ生活ニ困難ヲ訴ヘシムルニ至ラバ、サナキダニ物價騰貴ノタメニ困難ヲ感ジテ居ル人民、殊ニ下流ノ人民、此下流ノ人民ニ對シテ打撃ヲ與ヘルト同時

ニ一方ニ更ニ物價ノ騰貴ヲ促シ勞働賃銀ノ騰貴ヲ促シ、是ガ生産社會ニ對スル打撃ハ益、甚シキヲ加ヘテ、消費稅ヲ重ク課スル結果ハ必ズサウデアアル、物價ノ騰貴ヲ促シテ勞働賃銀ヲ高クスル、是ハ生産社會ニ對スル打撃デアアル、經濟社會ノ振ハナイ今日、サナキニ激變ニ生産費用ヲ減ズル目的ノ上カラ勞働賃銀ヲ成ルベク廉クシナケレバナラヌト云フ場合ニ接シテ居ル今日ニ、消費稅ノ増徴ノタメニ一般ノ經濟社會ニ打撃ヲ加ヘルト云フコトハ甚シイコトト云フコトハ、吾々又之ヲ記憶シナケレバナラヌ點デアアル、政府ガ是等ノモノヲ顧ミシテ消費稅アルカラ差支ナイ、消費稅アルカラ便利デアルト云フヤウナ意見ヲ以テ此計畫ヲ立タト云フテハ、誠ニ不都合極マル計畫デアアル私共ハ國家ノ此經濟ノ上カラ致シマシテ更ニ増稅計畫スル反對ヲシナケレバナラナイノデアリマス、細密ノコトハ此席デハ申述べマセヌ、私ハ大体斯様ナル理由ヲ以テ此各種ノ増稅案ニ對シテハ絕對ニ反對ヲ表スルモノデアリマス

○大津淳一郎君 既ニ増稅案反對説モ出テ居ルノデゴザイマスカラ、ドナタカ増稅案ニ御賛成ノ説ヲ唱ヘテ述ベタイト存シテ居リマスルガ、ドナタモ御賛成ノ様子モナイ私モ増稅案ニ反對者ノ一人デアアル、我國ノ今日ノ狀態カラ申シマシタナラバ、既ニ稅ト云フ方ニハ非常ニ過重ニ苦シテ居ル狀態デアアル、既ニ現在ガ稅ノ重キニ失シテ居ル狀態デアアル、之ニ非常特別稅ヲ起シテ所謂非常ノ名ヲ無ニシテ之ヲ永久稅ニシタ、最早非常ノ際ニ充ルベキ増稅戰後經營ノ資本ニ既ニナラシメテ居ルノデ、然ルニコレヲ以テ戰後ノ經營ヲ爲スコトヲ爲シ得ズシテ、サウシテ今又茲ニ増稅ノ案ヲ提出スルト云フニ付テハ財政ノ計畫ノ上ニ國民ニ已ムヲ得ザルト云フ深キ信念ヲ與ヘルノ途ガナケレバ、増稅案ヲ提出スルト云フコトハ出來ナイコト、思フ、然ルニ現内閣ガ財政ノ計畫ノ狀態ヲ見マスルト決シテ増稅ヲシナケレバ爲シ得ザルト云フ理由ヲ見出スコトハ出來ナイ、又一ニ今日ノ我國ノ狀態ハ急速ニ生産力ガ發達シタ、一面ニ生産力ノ發達ニ伴フテ、此位ノ稅ヲ課シテモ宜シイト云フ途ガアレバ、兎モ角モ此内閣ハ戰後ノ經營ニ任シテ、如何ナル生産力ノ發達ニ利益スルノ施設ヲ執ラレタカ、二箇年有餘何等此生産力ノ發達ト云フ方ニ向テ施設スルモノ一ツモナイ、僅ニ戰後經營ト云ヘバ經濟界ニ元氣ヲ附ケタカト思ヘバ、直チニ却テ其反動苦ミヲ與ヘタト云フ狀態ニ陷ツタ、少シモ戰後經濟界ノ發達ニ資スベキ行政ヲ一ツモ行ハズシテ、而シテ却テ稅ヲ課シテ是ニ誅求スルト云フコトニナラシメ居ル、多少ナリトモ生産力ノ發達ノ途ヲ講ジツ、アツテ、而シテ一面ニ増稅ト云フナラバ、マダシモ多少ノ理由ハアル、現内閣ガ戰後ニ執ツタ方針ハ何レノ途ヲ搜シマシテモ、此現在ノ豫算ノ計畫ノ上カラ見マシテモ、生産力ノ發達ト云フ方法ヲ講ジテ居ルコトヲ見出スコトハ出來ナイ、僅ニ鐵道國有ヲ以テ之ガ大ニ經濟界ニ於テ國有ヲ以テ交通ヲ開クト云フ途ニ出デタカト思ヘバ、其鐵道ノ國有ノ一國有後ノ結果ハドウダ、吾々ガ豫テ反對ヲシタ如ク、其結果ハ甚ダ不結果ニ陷ツテ居ル、然ラバ現内閣ガ一面ニ生産力ヲ發達シテ一面ニ増稅スルト云フ申譯ハ、決シテ立ツ途ハナイノデ、デ財政ノ今度計畫ノ上ニ於テ、ソシナラバ鞏固ナル方法ヲ立テ、斯様ナ計畫ニシテ日本ノ前途ハ往カナクツテハナラヌケレドモ、儲テ收入ニ於テ斯様不足ヲ生スルガ故ニ、已ムヲ得ズ増稅スルト云ツテ國民ニ安心ヲ與ヘル程ノ計畫ノ出來ナイハ、前兩三回ノ委員會ニ於テ大藏大臣ノ説明及水町次官ノ説明ニ於テモ少シモ要領ヲ得テ説明答辯ハナクシテ、僅ニ此要領ヲ得

ント欲スレバ、ソレハ議論デアルト云フノデ逃ゲテシマフ委員會ノ速記録及大臣ノ説明書如何ニ能ク吟味ラシ、如何ニ能ク現内閣最負ノ腦髓ヲ以テ之ヲ調査シテヤテ見タコロデ、財政計畫ガ確乎ナリト云フ判斷ハ下セナイ、斯様ナ財政計畫ヲ提出シテ、而シテ今茲ニ増稅ヲスル、増稅案ヲ提出スル資格ノナイ私ハ内閣ト信ジテ居ル、財政計畫ノ成立チニ依テ御覽ナサイ、世間ノ風説世間ノ評判ハ取ルニ足ラズトシテモ、サリナガラ一般ノ世間ノ表示、公ケニ世人ガ認メテ居ルコロニ依テ見レバ、現内閣ガ財政計畫ヲ立ツルニ當テハ、或ハ兌換券ノ増發ヲシヤウト云フ計畫ヲシテ之ニ失敗シ、或ハ地租ノ増徴案ヲ提出セントシテ元老ノ一喝ニ合ツデシマツタ（ノウノ）ト呼フ者アリ種々ナル方法ヲ立テ、後日ノ責任ヲ以テ財政ノ責ニ當ル内容ガ閣員以外ノ者ノ表決ニ依ツテ、屢、財政計畫ヲ變更シテ、サウシテ今日ノ計畫ヲ提出シタト云フガ如キハ、一言ニシテ財政計畫ノ信用ノナイト云フコトハ證明サレテ居ルノデアアル、斯様ノ財政計畫ヲ立テ置キナガラ、金が足ラヌカラ増稅案ヲ提出スルト云フコトハ、抑モ國民ニ向テ如何ナル觀念ヲ持ツテ居ルデアアルヤ、大藏大臣ハ豫算委員會ニ於テ説明シ、戰爭ノ準備金ハナイケレドモ一朝事アルト云フトキハ國民ノ愛國心ニ訴ヘル、成程日本ノ政府ハサウ思フデ居ルデアアラウ、日本ノ國民ハ事ノアルトキニハ、舉國一致ヲ以テ愛國心ニ訴ヘテ自在ニ之ヲヒツ使ヒ、事ノナイトキニハ税金ヲ誅求スル即チ動物デアアル、斯様ナ考ヲ持ツテ居ラル、デヤアルマイカ、事ノアルトキニハ舉國一致ト云フテ、國民ノ愛國心ニ訴ヘルト云フテ極メテ國民ヲ煽テ、事ノナイトキニハ今度ハ増稅ト云フノデ、苛メテ國民ト云フノハ、軍サノアルトキニハ命ヲ捨テ平生ノ稅ヲ納メ動物デアアルカト云フ位ニ、國民ヲ輕視シテ居ラル、ト私共ハ思フノデアアル、一般ノ會計ノ信用ヲ國民ニ保ツコトガ出來ナイ、而シテ此増稅ヲナスト云フノガ吾々共ノ第一ニ反對ヲシナケレバナラヌ即チ理由デアアル、増稅ヲナスト云フ事柄ハ、歲計ノ上ニ於テ國家ノ前途ヲ憂ヘテ斯ノ如キ方法ニ依ツテ、而シテ已ムヲ得ザルカ故ニ此稅ヲ國民ノ負担ニ望ムト云フノデナケレバ、決シテ増稅計畫ハ出セナイデ吾々ハ是ニ於テ此増稅計畫ヲ全体ニ於テ反對ヲシテ、而シテ此増稅案ヲ否決致シタトテ、財政計畫ノ上ニ於テ、決シテ吾々共ハ差支ヘナシト信ジテ居リマス、政府ハ説明シテ此四十一年度ニ支出スルモノハ約五百萬圓、アトハ後年度ノ計畫ニ待ツモノデアアル、前ニ反對者モ述ベテ居リマスルケレドモ、約五百萬圓ノ金ヲ四十一年度ニ要スルガタメニ、何故ニ今年ヨリ此様ナ増稅案ヲ提出シナイヤナラヌデアリマセウカ、又後年度ノ計畫立テントスルナラバ、政府ニ果シテ後來ヲ思フノ覺悟アリ、決心アリトスルナラバ、如何ヤウニモ計畫ハ立ツト私共ハ信ジテ居リマス、政府ハ事業ノ繰延ヲ既ニ覺悟ヲシタカラニハ、何故ニ今少シ自ラ既ニ事業ノ繰延ト云フコトヲ覺悟シタカラニハ、今一歩ヲ進メテ増稅ヲセヌダケノ繰延ノ計畫ヲ立テナイカト云フコトヲ質問致シマス、是ニハ十分ナル御答トハ信ジナイガ、重ネテ繰返ス必要ハナイケレドモ、速記録ヲ讀ンデ見マシタナラバ、此答辯ニ對シテ既ニ繰延ベタル年度ノ外ニ、一切繰延ベルコトハ出來ナイト云フ理由ハ、一ツモ説明ハシテナイノデアアル、後來ノ計畫ヲ立テントスルナラバ、増稅ニ依ラズシテモ自ラ自覺シテ、既ニ自身ガ計畫ヲ立テタコロノ財政計畫ガ四十一年度ニ於テ既ニ自ラ之ヲ繰延ベナイデアラヌト云フ、窮極ニ陷ツタカラニハ今一歩ヲ進メテ此財政計畫ヲ繰延方法ノ如キハ、爲シ得ヌト云フ道理ハナイノデアアル、國民ノ負擔ヲ増スノ

苦カラ見レバ、政府が今一步ヲ進メテ、繰延ヲ實行スルト云フコトハ、未ダ輕イコト、思フ、此財政計畫ノ繰延ヲ今一步進シテ斷行シト云フコトハ、吾々ハ決シテ國防ノコトヲ陳カニスルト云フコトハ、併ナガラ政府が自ラ今日此財政計畫ニ於テ、陸軍經費、海軍經費モ繰延ベルト云フ既ニ繰延案ヲ提出シタカラニハ、己レノ決心アルトコロヲ以テ、今少シ繰延ヲ爲スコトが出來ナイコトハ、各國トノ協約モ既ニ出來テ居ル今日、今日ガ一番平和ノ時期デ、何等ノコトモナイ時期デハナイカト云フコトハ、豫算委員會ニ於テモ何レノ人カ質問シタ事柄アル、既ニ政府ニ於テモ今日ハ一番平和ノ時期アル、然ラバ平和ノ時期ニ於テ是等ノ計畫ヲ繰延ベ得ヌト云フ道理ハ自ラ自覺スレバ、吾々共ハナイト思フ、併シ平和ノ時期ニ於テモ國防ノ軍備ハ決シテ忽カセニスベカラズト云フコトハ、吾々ト雖モ承知シテ居ル、外交上ノ必要ハ——即チ國防ノ備ハッテ居ルト云フコトハ、即チ外交上ノ一ツノ必要點アルト云フコトモ誰モ知ッテ居ル、併ナガラ日本ノ外交ヲ御覽ナサイ、二十師團ノ陸軍アリ、六十萬噸近クノ海軍ヲ備ヘントスル日本ノ陸海軍ノ軍備ヲ有ッテ居リナガラ、何レノ國ニ向ッテモ日本ノ今日ノ外交ハ勝利ヲ得テ居ラス、是タケノ軍備ヲ控ヘテ居リナガラ、外交悉ク失敗ニ了リテ居ル、平生此武器ヲ外交ノ上ニ利用スル道スラ知ラナイ内閣アル、左様ナ状態デアッテ見レバ、此繰延ト云フコトハ二年三年位ヲ繰延ベテ、又此上ニ爲スト雖モ決シテ吾々共ハ差支ナイト思ッテ居ル、政府が自覺スレバ、其位ノコトハ出來ル、ソレデ二年三年ノ繰延ヲ斷行スレバ増稅ノ必要ハ全クナイノアル、而シテ此四十年度ノ——ソレハ四十二年年度ノ計畫ニ政府が今一步進ムダ自覺シタ計畫ヲ立テ、繰延ベルニ任セテ宜シ、四十年年度ノ計畫ニ對シテハ此増稅案ヲ否決シタコロガ、約五百萬圓、五百萬圓ノ金ハ先ニ述ベラレマシタ人ガアル如ク、三千三百萬圓ト云フ即チ剩餘金ヲ四十二年度ニ繰延バスト云フノアル、剩餘金ヲ四十二年度ニ繰延バストハ、會計法ノ規定云々ハ暫ラク置テ此剩餘金ト云フモノヲ、何故ニ先ニ繰延サナケレバナラヌカ、一休剩餘金ト云フ問題ニ就テハ吾々ハ甚ダ疑點ガ多イ、追加豫算トシテ何時デモ剩餘金ヲ支出スルノハ日本政府ノ是マデ來テ遺リ方アルケレドモ、憲法上カラ正確ニ解釋スレバ、決シテ剩餘金ト云フモノハ議會ノ協贊ヲ經ズシテ、追加豫算トシテ之ヲ使ヒ拂フト云フコトハ吾々共今日ニ於テモ、憲法違反ト考ヘテ居ル、第一期議會以來第九議會マデハ、即チ憲法違反トシテ吾々共ハ何時デモ承諾シナカッタ、只廣島ノ議會ニ於テ戰爭中剩餘金ヲ支出シタト云フノデ、事後承諾ヲ求メテ來タト云フ、出師準備ノ爲メト云フノデ已フヲ得ズシテ此時ニ承諾ヲ與ヘタノガ、爾來慣習トナッテ剩餘金ヲ殆ド多額ノ協贊ヲ經ナイ金ヲ支出シテ居ル、三千三百萬圓ノ金デ翌々年度ニ引繼グト云フノハ、必要起レバ直ニ此豫算ヲ通過シテ、又内ニ繰延シテ置イタモノハ追加豫算トシテ、此金ヲ又使拂フト云フ政府ノ計畫有リノト見エルトアル、此ノ剩餘金ト云フモノハ成ルベク一般會計ニ繰込シテ、而シテ追加豫算トシテ政府が我儘ニ使ハレナイ道ヲ取ルト云フコトハ、吾々ノ常ニ望シテ居ル事柄アル、三千三百萬圓ヲ政府ノ自儘ノ支出ニ任カセル必要ハナイ、四十一年度ノ全体ノ計畫ノ上ニ増稅案ヲ否決シテモ、此内五百萬圓ヲ持ッテ來ルノハ何等ノ差支ナイ、ソレカラ四十二年度カラノ歲計ニ就テハ前ニ述ベタル如ク、政府が決心シ、自ラ自覺シテ、是デナケレバ將來ノ安固ヲ保ツコトが出來ナイト云フ

考ヲ有ツタナラバ如何様ニモ爲スベキ途ハアル西園寺首相ハ行政ノ整理ハ打切リダ、時ニ取ッテ御打切りモ宜カラウガ、永久ノ打切リト云フコトハ、水町次官ノ説明ニ依レバ統監府朝鮮及小サイケレドモ樺太ノ行政機關ハ非常ニ擴ガッタ、故ニ行政經費ニ於テハ決シテ之ヲ減ズルト云フコトハ出來ナイト云フ説明ガシテアル各處ニ擴ガッタカラコソ、其擴ガッタ上ニ於テ緊縮ヲスレバ約一割ハ減ラシテモ若干ノ金額ハ出ル、各處ノ行政機關ガ擴ガッタ故ニ之ニ向ッテ整理ヲシテ、經費ノ節減ト云フコトハ爲シテ宜シイノアル却テ宜シイト私共ハ信ジテ居ルノアル、此増稅案ハ國民ノ苦痛アルト云フコトヲ知リツ、而シテ尙モ提出シテ協贊ヲ求メヤウ、國民ヲ見ルコト内閣ハ何タル考ヘヲ以テ見テ居ルノカ、苦痛ハ知ッテ居ルケレドモ、御前ハ此稅ハ負擔シロ、既ニ苦痛ヲ知ツタナラバ、他ニ計畫ヲシテ増稅ヲセズシテ歲計ヲ立テ、往クト云フ決心ヲ何故取ラヌカ、西園寺首相及現内閣ノ諸君ハ今一步進シテ他ノ力ヲ假ラズシテ、己レガ立憲ノ行動ニ依ッテ國ニ満足ヲ與ヘル決心ヲ持タズシテ——斯様ナ増稅案ヲ提出セズトモ、如何ヤウモ歲計ノ爲シ得ザル途ハナイデモナイト私共ハ信ジテ居リマス、大勢既ニ定ルト云フ言葉ハ、私ニ於テモ左様ニ考ヘテ居ル、是ニ對シテ諄々シク述べル必要ハナイデアリマスケレドモ、大体ニ於テノ反對ダケハ、委員會ニ於テ述べテ置ク必要ガアルト私共ハ信ズル故ニ、前ノ說ヲ述ベマシタ所以デアリマス

○菅原傳君 反對ノ御意見ヲ有スル諸君ノ御述ベノコロヲ拜聽致シマシタガ、多クハ側面ノ攻撃、殊ニ大津君ノ御意見ノ如キハ、當ニ側面ノ御意見ノミナラズ、或ハ感情ニ走リテ居ラスカト云フヤウニモ感ジラレタ次第デアリマス、何故デアルカ今ノ内閣ハ増稅案ヲ出ス資格ガナイナント申サレタ言葉ノ如キハ、是ハ全クノ感情論ト申サネバナラス、只側面ノ感情論ヲ申シタナラバ大津君御同志諸君ノ如キハ寧ロ増稅ニ反對セラルル御資格ガナキコトト私共ハ思フノアル、昨年ノ二十三議會ニ於ケル諸君御同志ノ方針トシテ議定サレタモノハ何ンデゴザリマスルカ、文字ハ存ジテ居リマセヌガ、趣意ハ斯クアル、帝國ノ四圍ノ狀況ハ國防ノ充實ノ一日モ緩ニスルコトが出來ヌ、又帝國ノ發展ニ資スベキ經營ハ一日モ緩ウスベカラズト云フ、旗印ノ下ニ二十三議會ニ立タレタデアリマセヌカ、要スルニ積極の方針ヲ以テ立タレ、且又大石君其他憲政本黨ノ名士諸君ノ御演說ヲ承ッテ、豫算委員會等ニ於テモ皆積極ノ方針ニ依リ而シテ帝國戰後ノ經營ノタメニハ、積極の方針ハ官民共ニ一致スルコトコデ、増稅ノ已ムヲ得ヌト云フヤウナ御議論ニナッテ居ルアル、然ルニ今更側面ノ感情的ニ増稅案ヲ否トセラルト云フコトハ、是ハ私共ハ大津君ノ爲メニ取ラザルトコロデゴザリマス、併シ私共ハ敢テ側面ノ攻撃ハ致シマセヌ、唯私共ハ此案ニ——政府ノ案ニ大體賛成スルトコロノ要點ノミヲ申述ベヤウト思ヒマス、勿論賛成スルニ就テハ多クノ論據ガゴザリマス、併ナガラ大別シテ申シマスレバ、三點ニ過キヌノアル、其第一ハ帝國ノ地位アル、第二ハ既定ノ事業ヲ遂行シ將來事業ヲ計畫スルタメニ増稅ノ必要ヲ感ズルノアル、第三ハ歲出入ノ均衡ヲ保チ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルタメニ此増稅ノ必要ヲ感ズル、此三點デアリマス、帝國ノ地位ト申スコトニ就テハ、改メテ申上ゲル必要モナイ、諸君ノ御承知ノコトデアリマス、只無形上ニ於テ帝國ガ日露戰爭後列國ノ班ニ列ツタト云フノミナラズ、實際ニ於テモ大ニナツタノアル、人口カラ云ッテモ、面積カラ云ッテモ、非常ナル増進ヲ致シタデアリマス、諸君ノ御

承知ノ通りニ日露戦争前ニハ日本ノ面積ハ約十六万方哩程デアッタノデアリマス、然シ樺太ノ如キモノト、又朝鮮ノ如キ九万方哩程ハセマスレバ、二十六万方哩トナッタノデ、面積ノ上カラ申シテモ、偉大ニナッタ、是ハ改メテ申上ケルマデモナイ、人口ノ點カラ云ツテモ、此朝鮮ヲ併セマスレバ六千万人デアリマス、斯ノ如ク極クアツリシタ大體カラ見マシテモ帝國ノ經費ノ増加スベキコトハ明ナコトデアリマス、又斯ノ如ク地位ガ高マリ、版圖ガ廣クナッタト申セバ、海陸軍ノ軍備モ出來ルダケ財政ノ許ス限リニ於テ充實シナケレバナラヌト云フコトハ明ナコトデアリマス、同時ニ内政ニ關スルモノデ、教育デアルトカ、交通機關デアルトカ、或ハ河船ノコトデアルトカ、港灣ノ如キモノハ是等ノモノモ出來ルダケ改良モシ發達モシナケレバナラヌト云フコトモ、是モ諸君ノ御同意ノコトデアラウト思フ、ソレデ大體論ハ積極的ニシナケレバナラヌ、又經費ノ増スコトモ明デアリマスカラ、何モナイト云フコトハ大津君ガ外交上其他ノコトニ就テ言フデモ、現内閣ハ隨分功績ガ多イデアリマス、日英同盟ニ就テ、日露協約ノ如キ、日佛協約ノ如キ、ソレハ外交上ノ成功ト是等ハ見ナケレバナラヌデアアル、大津君ノ如キハ只瑕疵ノミヲ指摘シテ、國有鐵道ガナントカナイトカ云ハレマシタガ、瑕瑾ノミヲ申サレレケレドモ、彼ノ大戰争後タツタ二年デアリマスカラ、サウ何モカニモ出來ルト云フコトハナイ、朝鮮ノ如キハ戰後ニ至ッテ確實ニ保護國ニシタノデアリマセヌカ、又滿洲ノ鐵道經營ノ如キモ二十五万方里ノ彼ノ大キナ滿洲ノ彼ノ廣イ鐵道ノ經營デアルガ、皆是等ノ如キモ着々進ミツ、アルデアリマセヌカ——着々進ミツ、アルデアリマセヌカ、只非難攻撃ハ口デハ出來マセウガ、ナカ／＼サウハ出來ナイ、大局ノ方針ニ於テ反對セラル、ト云フコトアレバ別デアリマスガ、大體ニ於テ諸君ハ贊成デアリマセウ、只側面カラ感情のニ攻撃スルコトハ、是ハ誠ニ取ラザル議論ト云ハナケレバナラヌ、吾々ハ大體此方針ニ據ルデアリマス、然シテ既ニ此大方針ヲ立テタ以上ハ、内外ノコトハ出來ルダケ事實經營シナケレバナラヌ、海陸軍ノ如キモ出來ルダケハ充實シ整理スルコトニ努メンケレバナラヌ、又財政ノコトモシナケレバナラヌ、其財政ノ處分ヲナステメニ、海陸軍ノ如キ年々數千万圓ヲ繰延ベテ、是ヲヤルト云フコトデアアル、併シナガラ二十議會二十三議會決シテ來タコトノ事業ハ遂行シナケレバナラヌデアアル、又既ニ定ツタ事業ノミナラズ、將來ニ爲スコトモ數々アルカラ、是モ出來ルダケヤッテ往カナケレバナラヌデアアル、非常ニ繰延ベタラドウカト云フケレドモ、サウ限リナク繰延ハ出來ナイ、又此發展ノ場合ニ於テ何モカモ廢止スルコトハ出來ナイ、出來ルダケ之ヲ進メルト云フコトニスルヨリ他ニ途ハナイト思フデアリマス、第一日本ノ地位カラ論ジテモ今日定ツタ所ノ事業ヲ遂行スル點カラ云ツテモ増税ハ已ムヲ得ヌト、私共ハ信ズルデアリマス、併シナガラ今日ノ財政ハ戰爭ノタメニ二十億ノ國債ヲ負ヒ其上ニ發展シナケレバナラヌト云フデアアルカラ、歲出入ノ均衡ヲ計リ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルコト云フハ至難ノコトデ、何人ガ局ニ當テモ至難ノコトデアアル、特ニ今日ハ唯日本バカリノ經濟上ノ恐慌デアナイ、亞米利加ノ如キ又同ジク經濟上ノ恐慌ノ場合デアアル、是等ノ事情アルトキニ財政ヲ處理シテ往クハナカナカ困難デアアル、又假リニ財界ガ平和デアルニシテモ、唯借金ノミデ國家ノ經營ヲ爲シテ參ル譯ニハ往カヌデ、今日ノ増税ハ已ムコトヲ得ヌ次第ト考ヘル、別ニ私ヨリ詳細ニ申ス必要モナイガ、當局者カラ回附ニナツタ歲出入ノ統計表ヲ見テモ、明カニ四十一年ニ

ハ何千万圓四十二年ニハ何千万圓ト云フ缺陷ガアツテ、之ヲ填補スルタメニ増税ヲスルハ已ムヲ得ヌト信ズル、増税モ何モシナイデ、國家ガ此儘ニ止マルナラ兎モ角、苟モ少シデモ進メルト云フナラバ、増税ヲシテ一ツデモ事業ヲ爲スト同時ニ、歲出入ノ均衡ヲ計ッテ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルヨリ外ナイト信ズル、要スルニ私ノ論旨ハ第一ニ帝國ノ地位ヨリ、第二ニ事業ヲ遂行スル點ヨリ、第三ニ歲出入ノ均衡ヲ計リ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル點ヨリ、今回ノ増税ハ萬已ムヲ得ザルモノト信ズル次第デアリマス、○三井忠藏君 只今一括シテ問題トナツテ居ル三案ノ中酒造稅砂糖稅ニハ贊成シテ、石油ニハ反對致ス者デアリマス、其理由ヲ簡單ニ申述ベマス、此砂糖酒ノコトニ付テハ既ニ反對論者ヨリ理由ヲ御述ニナリマシタガ、其理由ハ數々アリマスガ、之ヲ總括スルト第一ハ四十一年度ハ年々四百九十万圓ノ不足デアアル、之ハ四十二年度ハ繰延パス、三千三百萬圓ノ剩餘金ノ内デ補填シテ裕々收支ガ付ク故ニ増税ノ必要ガナイ、第二ニハ政府ガ一億圓近クノ繰延ベヲナス決心ヲナシテ居ル以上ハ、尙進ムデ二千五百萬圓乃至三千萬圓ノ繰延ノ出來ヌコトハナイ、是ガ出來レバ増税ノ必要ハナイ、第三ハ今日ノ場合増税ニ増税ヲ重ネテ經濟界ノ恐慌ヲ來シ、大ニ混亂ニ陥ッテ居ル、第四ハ此不能、不見、不方針ノ政府ニ増税ヲ與フルト、將來經濟界ヲ如何ニスルト云フ、四ツ止マル、ソレデ第一ノ四十一年度ノ不足ハ四百九十万圓デアアルカラ、三千三百萬圓ヲ補填ガ付クト云フコトハ、如何ニモ尤モデアアルガ、繼續事業ヲ數年ノ後ニ抱ヘテ居ラナケレバ、四十一年度ダケノ收支ガ償ヘバ宜イカ、ナレドモ後年一億二千三百萬圓ノ繼續事業ノ支出ヲシナケレバナラヌ今日ニ當ッテ、本年ガ四百九十万圓ダケノ不足故ニ増税ノ必要ガナイト云フコトハ、甚ダ同意シ難イ、財政ノ鞏固ト云フコトハ此一點ニアルノデ、昨年も豫算委員會大藏大臣ニ迫リ、四十年ハ之ヲ宜イガ、四十一年、二年、三年、ハ如何ニスルカト尋チタコトコガ、大藏大臣ハ未來記ハ語ラヌト云フタ、其時未來記ヲ語ラヌト云フ法ハナイト云フテ喧々トシテ、大藏大臣ニ迫ッテ、即チ未來ノ事ヲ大ニ基礎トシナケレバナラヌト云フ者ヲ持ッテ、昨年ノ衆議院ガ今年ハ未來ノコトハ構ハヌト云フハ、如何ニモ前後撞着ノコトデアアル、第二ハ一億近クノ繰延ヲスルナラ、今一步進メテ更ニ二千五百萬圓乃至三千萬圓ノ繰延ノ出來ヌコトハナイト云フ議論デアアルガ、一億近クノ内、陸海軍ノ繰延ガ九千万圓近クニナツテ居ル、此上ノ繰延ハ反對論者ガ具體的ニ陸軍デ幾ラ、海軍デ幾ラヲ減スレバ之カ出來ルト云フコトヲ具體的ニ云ハヌト贊成スルコトガ出來ヌ、只空漠ト出來ヌコトヲヤルマイト云フコトハ贊成ガ出來ヌ、第四ハ増税ノ上ニ増税ヲシテ、經濟界ヲ混亂ニ陥ラスト云フガ、之ガ吾々ノ贊否ノ岐ル、所デ、繼續事業ハ四十五年ハ七年ト其負擔ハ續クデアアル、然ルニ財源ハナイ、之ヲドウスルカト云フコトハ即チ經濟界ノ安固ニナルカ不安固ナルカノ岐レ目デアアル、反對論者ハ増税ヲスレバ混亂ニ陥ルト云フガ、一方ニ四十八年度迄年々繼續費ヲ出サナケレバナラヌ負擔ガアル、其財源ヲ得ズシテ、經濟界ガ安固ニナルト云フ道理ハナイ、今日ノ恐慌ハ種々ノ原因モアラウガ、其重ナル點ハ繼續事業ガ如何ナル財源デ支出サレルカ、ソレガ言ッテ居ラヌタメ未來ヲ恐レテ萎靡不振ニナツテ居ル、然ラバ此財源ヲ確實ニ拵ヘ、實業家ノ憂慮シテ居ル財源ヲ充スコトニナツテ、安心ヲ付ケサスコトニナルト思フ、ソレカラ次ニ不信任ノ政府ニ云ツト云フコトハ私モ同感デアアル、此内閣ガ無定見無方針

ト云フコトハ最モ同感ナル、ナレドモ衆議院ハ本院ニ於テ既ニ不信任案ヲ否決シタ以上ハ、仕方ナシ、是ハ立憲政體ノ妙ナル、唯此不信任ノ内閣ニ増税ヲシテ渡スコトハ遺憾ナルト云フコトハ、感情ナル、全体此國家ノ生存發達マデモ賭シテ感情ヲ全ウシナケレバナラヌト云フコトハ、政治家ノ最モ忌ムベキコトデアッテ、殊ニ戰後ノ經營ノ今日ニ於テ最モ忌ムナケレバナラヌコトデアルト私ハ考ヘマス、故ニ私ハ反對論者ニ服スルコトハ出來ナイ、併ナガラ石油稅ハ——此說ハ反對ヲ致シマス、何トナレバ全体將來ニ於テ政治家ノ最モ注意シナケレバナラヌト云フコトハ、社會ノ調和ナル、是ハ大ニ吾々ノ念頭ニ忘ルベカラザルモノデアアル、然レニ今日ノ徵稅ノ法ハドウカト申シマス、大概ノ者皆貧民ニ重ク掛ケ、富民ニ輕イト云フヤウナ傾ガアル、是ハ大ナル社會ノ調和ノ害物デアアル、何ヲカ貧民ニ重クシテ富民ニ輕イカト申シマス、彼ノ鹽ノ稅金ノ如キモ主ニ貧民ノ負擔スルモノデアアル、ソレカラ織物稅ノ如キモ亦然リ、甚シキニ至ッテ輸入米ノ課稅ノ三百幾十萬圓ト云フモノハ悉ク細民ノ負擔デアアル、此上持ッテ行ッテ一石ニ付テ一圓——一圓位ノモノデアアルカラ堪エラヌコトハナイト云フコトハ御説モアリマスルガ、如何ニモ石油ニ對シテハ一石ニ付テ一圓デアリマスガ、細民其者ノ生活ノ品物カラ申シマスレバ、石油モアリ、鹽モアリ、織物モアル、一々之ヲ合計ヲ致シマスナラバ、細民ノ生活上甚ダ苦ムモノト考ヘマスルノデ、此増稅ノ必要ハアリマスルガナレドモ、斯ル社會不調和ノ原因トナル稅金ノ如キモノハ、成ルベク去ッテ除キタイ考デゴザイマス、然ラバ此不足ノ百五十六萬圓ト云フモノハ何ヲ以テ補填スルカト云フ御答メガアリマセウガ、是ハ四十二年度ノ繰延三千三百萬圓ヲ以テモ行ケマス、尙又私設鐵道ノ買收ヲシマスル益金ヲ以テマシテモ、其他何レノ費用ヲ以テモ此百五十六萬圓位ノ補填ハ十分出來ルモノト思ヒマス、此理由ヲ以テ二稅ニ贊成ヲ致シマス、一稅ニ反對ヲ致シマス

○大岡育造君 本員ハ本案ニ贊成ノ意見ヲ簡單ニ表明致シマス、此三案共ニ人民ノ負擔ヲ重ウスルモノデアリマシテ、吾々ノ大ニ苦慮スルコロデアリマス、苦慮ヲ費シタル後、遂ニ茲ニ私ハ贊成ヲ表スルノデ、喜ンデ此ノ如キ事ヲスル者ハ一人モナイノデアアル、諸君此ノ如キムツカシイ案件ニ對シテ反對論ノ多キコトハ吾々ノ豫期スル所デアアル、然ルニ流石大同俱樂部ニハ其人アリト豫メ信ジテ居リマシタガ、此場合ニ於テ公然大體増稅ニ贊成ノ意見ヲ表明セラレタコトハ、私ノ大ニ喜ブ所デアリマス、諸反對ニ立ッテ最モ能ク主張セラル、處ノ進歩黨ノ諸君猶與會ノ諸君ノ御意見ノ大體ヲ考ヘマスルニ、全體此四十一年度ニハ増稅ヲセズトモヤッテ行ケルノデアアル、ソレヲ斯ノ如キ増稅ヲスルノハ怪シカラヌト、斯ウ論ジテ、如何ニモ此事ガ人民ニ不親切デアルト論ゼラル、ノデアアル、私共此苦慮シタル後ニ之ヲ贊成スル所以ハ、實ハ人民ニ對シテ親切ナル心カラスルノデアアル、大津君ニシテモ或ハ其他ノ諸君ニシテモ、唯今ノ國家經濟ノ狀態ニ満足シテゴザルヤ否ヤト云フコトヲ私ハ問ハネハナラヌト思フ、眞ニ憂フベキハ今日ノ國家ノ財政及經濟ノ狀態ガ甚ダ不健全デアアルコトデアアル、而シテ又此不健全ナル事柄ハ我邦ノ一個ノ事情カラ生ジタノデナクシテ、日露戰後財政ノ關係モ經濟ノ關係モ所謂此世界ノ共通ノ狀態ニアル所カラ受ケタル一ツノ病ニ依ルノデアアル、之ヲ救フノ方法トシテ、私共ハ餘儀ナク之ヲ決スル、若シ政府ナルモノガ政府ノ安ヲ主トシマスルナラバ、進歩黨ノ諸君ノ御説ノ如ク實ハ吾々ハ斯ク忍バストモ濟ムカモ知レヌ、併ナガラ政府及吾々議員カ荷フ

所ノモノハ國家デアアル、國民デアアル、此國民、此國家ヲシテ此不健全ナル狀態ヨリ救フテ健全ニ導クタメニハ餘儀ナク此事ヲ決セザルヲ得ヌノデアアル、之ヲ以テ何トヤラノ動物ノ如ク——諸君ガ選舉演說ハ斯クセラル、カ知ラナイガ、進歩黨ノ諸君若クハ其他ノ諸君ニ當年限リ此内閣ヲ渡シ、此國ヲ渡シタナラバ、サウ云フコトヲヤッテ喜バル、カモ知レマセケレドモ、吾々ガ荷フ所ノモノハ百年ノ先、此國家ノ安泰ヲ荷フノデアアル、但シ今ノ此財政計畫ガ非常ニ十分デアアルカト云ヘバ、是ハ私ト雖モ非常ニ十分トハ申シマセヌ、モット多クノ健全ヲ期シタイノデアアル、ケレドモソレハ程度デアアル、現狀及内外ノ形勢等ヲ參酌シテヤッテ行カナケレバナラヌノデアアル、マア私ハ斯ウ考ヘテ居リマスルカラ、我黨ハ親切心カラ此案ヲ贊成スルノデ、決シテ人民ニ不親切ト云フ譯ハナイ、又モウ一ツノ方面カラ承ルト云フト、増稅ノ高ガ少ナイ、實ハ少イト云フ不公平ガ多イ具合ヲ見ルト、モット上ゲテモ宜イカモ知レマセケレドモ、私共ハソレ丈ニセズニ此際此狀態ヲナクシタイト期スルノデアアル、今年僅カ四百五十萬圓、コナ小額ヲ仰シヤル、今年ハ僅カ四百五十萬圓、併ナガラ四十六年ニナレバ、二千萬圓増稅ハ是キリ、ナンニ増稅ト云フ名ガ付カズトモ、政府ノ國庫ヲ充タス所ノモノハ煙草ノ收入ノ増加ニ於テモ一千萬圓アルノデアアルカラ、三千萬圓デアアル、此ノ如キ數字ノ明瞭ナルモノヲモ妙ニ忘レルガ如クニシテ、タッタ五百萬圓若クハ四百五十萬圓、ト斯ウ何モ小サク仰シヤッデ——吾々感動セシメラ、法カ知ラヌガ、是ハ少シムツカシイ要スルニ此金高ヲ以テ今年ヨリ以後ニ於ケル、我が經濟我が財政ノ狀態ヲヨク好クシヤウト云フ善意ニ外ナラヌノデアリマスデ、吳々モ申シマス、唯今年限リ其日限リ宜シイト云フ各位ノ御政署デアラナラバ、是ハ格別デアアルケレドモ、吾々ハ今日以後ハサウ云フ方針ヲ取ルヨリモ、今一層進シテ前途ノ事ヲ考ヘタ方ガ、國民ノタメニ宜シイ、斯ウ考ヘルノデアリマス、又ツレ位ニ國民ニ親切デアラナラバ、今増稅ヲシナイ方が宜シイ、モット事業ヲ繰延ベルガ宜シイト云ハルニ違ヒナイト言フテゴザルヤウデアアル、是ダケ事業ヲ海陸軍ニ繰延ベタ以上ニ、何故モウ一息進マヌカト仰セララル、是ハ或ハ一説カモ知レヌ、若シ出來ルコトナラバ、幾ラデモヤレト云フコトハ、是ハ程度ノ問題デアリマシテ、政府ノ前途十年ナリ二十年ナリ先ヲ考ヘテ擔フトコロノ人が此程度ニ於テシナケレバナラヌト考ヘタノデアアル、ソコカラ此繰延ノ程度ヲ極メタノデアアルカ今日ハ先ツ幾ラ論ジテモ同ジコトデアアル、少シ繰延ベタイ、サウハイカニ幾ラニシッテモ同ジデアリマス、斯様ナ不信用ナ内閣ト答メラレマスガ、諸君ガ自ラ内閣ニ立ッテ斯様ナ案ヲ出サレル時分、其時ニハモット堅固ノモノモ出來ラアラウガ、兎ニ角今ノ狀態ニ於テ繰延ニ對スル増稅ノ額ハ是ダケデ宜カラウト私共ハ思ッテ居ルノデアアル、ソレカラ是迄ハ誠ニ大同俱樂部諸君ノ御厚意ヲ私ハ贊成スルガ、最後ニ是ダケノ大目ノヲ考ヘテ御同意ニナラレバ僅ニ石油ニ付テノ御反對ハ如何ニモ大同俱樂部ノタメニ惜ム、而シテ是ガ社會ノ調和トカ云フコトニナッテ居テ、石油ナルモノハ貧民ガ點ケルモノデアルトカ、若クハ織物稅ハ貧民ガ拂フモノト云フ——私ハ織物稅ヲハ富者ガ多ク拂フモノカト考ヘテ居ッダガ、兎ニ角斯ウ云フ寸法デアラレト大分違フ、私共ノ考ヘテハ今日暫クノ痛苦ハ忍ンデモ、今ノヤウナ不健全ナル財政ノ狀態及經濟ノ狀態ヲ回復シテ所謂不景氣ヲ去ッテ好景氣ニ此社會ヲ導キマシタナラバ一合ノ石油ニ付テ一厘上ツタ位ノコトハ餘リ痛苦トハ感ジマイト思ヒマス、唯今ノヤウナ狀態ノ儘ニシテ下等ノ人民ニ多

クノ職業ヲ與ヘ多クノ賃銀ヲ拂フコトノ出來ナイ場合コソ憂フベキデアリマス、故ニ斯ノ如キコトハ再論スルノ必要アリマセヌ、大同俱樂部ノ諸君モ既ニ十二分ニ現狀ヲ濟フノ御趣意ガアルノデスカラ、此點ハ御反省ヲ願ヒマス、大體此位ニ止メテ置キマス、相成ルベク諸君ノ多數ガ此案ニ御賛成ニ相成ツテ速ニ我財政ノ基礎ヲ鞏固ニナルヤウニ希望致シマス

○大藏大臣(松田正久君) 本官モ御採決ノ場合ニ當リテ一言致ス必要アリト存ジマスカラ、簡單ニ申ス積リデアリマスガ、皆テ其趣意ハ既ニ御賛成論者ヨリ縷々陳述ナサレタ所デアリマシテ、殊更ニ政府ノ意見ヲ申ス必要ハナイヤウデアリマスガ、曩ノ反對論者ノ御説就中大津君ノ御説ヲ承ルト、政府ハ此増稅案ヲ提出スル資格ガナイト云フコトヲ言ハレタノデアアル、是ニ對シテハ一言セザルヲ得ナイ、政府ガ増稅案ヲ提出シタルトコロノ理由ハ、既ニ本會ニ於テ再三述べ、又豫算總會ニ於テモ政府委員ヨリ詳シク陳述致シテ居ルノデアリマス、然ルニ大津君ノ言ハル、トコロハ、何故ニ生産力ヲ發シテ能クシナイカ、生産力ノ發達ヲ圖ラズシテ、漫リニ増稅案ヲ提出スルハ不當デアルト云フ趣意ニ歸スルカト思フ、政府ガ此案ヲ提出致シテ増稅ヲ要求スルハ何故デアルト云云ヘバ、今日ノ財政ヲ改良シテ、而シテ生産力ノ發達ヲ圖ラズメニ必要デアルカラコトデアリマス、生産力ノ發達ヲ圖ルノ餘財ガアレバ決シテ増稅案ヲ提出スルノ必要ハナイト申サレナレバナラヌ、是デ以テ大津君ハ御諒承ヲ願ヒタイ、且又豫算委員會總會ニ於テ戰爭準備金云々ノ議論ガ起リマシタトキニ、本官有事ノ日ニ當リテハ國民ノ愛國心ニ訴ヘルノ外ハナイト申シタノデ、ソレニ相違ハナイ、然ラバ大津君ノ御説ハ戰爭準備金ヲ澤山拵ヘロト云フ御説デハナイカト思ヒマスガ、本官ガ考ヘルトコロヲ以テスレバ、餘財アルノ日ニ於テ之ヲ置クノ宜シキニハ如カヌ、然レドモ目下帝國ノ地位トシテ戰爭準備金ヲ置クト云フヤウナコトニ致シマシタナラバ如何デアリマセウカ、是ハ容易ナラヌコトデアル、即チ國際問題モ此等ノ事ヨリシテ多端ニ涉ルカモ知レナイ、僅ニ五千万ノ人口ヲ有シ世界各國ヲ對手ニスルト云フヤウナ覺悟ヲ日本政府ガ執ルト云フコトニ至リテハ由々シキ、是ハ一大事ト云ハナケレバナラヌ、是ガ即チ財政ノ基礎ヲ危クスルノ根源デアルト私ハ信ズルノデアアル、(ソレハ往カヌ)ト呼フ者アリソレ故ニ今日戰爭ノ準備金ヲ拵ヘルナドト云フコトハ、決シテ是ハ口外スベキコトデアリナイト考ヘル、ソレ故ニ是又大津君ハ御諒承ヲ願ヒタイノデアアル、要スルニ今日斯ノ如キ増稅案ヲ提出致シタノハ屢々詳シク説明ヲ致シテ既ニ後年ノ統計マデモ略々申述ベタ譯デアリマスカラ、此等ノコトヲ十分大津君ハ御了解ナイト言ヘバ、政府ニ於テ増稅案ヲ提出スルノ資格ナシト云フ言葉ヲ繰返シテ大津君ハ財政ヲ論ズルノ資格ハナイト私ハ言フコトヲ憚ラヌノデアアル、併ナガラ感情のニ理モ非モ問ハズ、政府案ニ反對スルト云フ御方ニ向ッテハ、如何ニ辯明ヲ致シテモ御承服ガナイト思ヒマスガ、苟モ虛心坦懷國家ヲ擔ハントスル御方ニハ、何卒此案ニ賛成ヲ願ヒタイノデアリマス、最後ニ三井君ハ増稅案ノ二種ノモノニ付テハ賛成スルケレドモ、石油稅ニ付テハ賛成カ出來ヌト云フコトデゴザイマシタガ、増稅案ノ大體ニ付テ御賛成下サルノハ、誠ニ感服ノ至リデアアル、而シテ石油稅モ亦他ノ二種ノ増稅ヲ賛成セラレ、御趣意ヲ以テ一步御奮發アツテ勇氣ヲ起サレテ願クハ御賛成アラントヲ願ヒタイノデアリマス

○委員長(栗原亮一君) 採決致シマスガ、採決ノ仕方ハ斯ウ云フヤウニシヤウト思ヒマス、淺野君ノ三稅案全部反對説ト、ソレカラ三井君ノ石油稅ダケニ反對、此二ツニナッテ居リマスカラ、第一第二ニ別ケテ第一ノ淺野君ノ三稅案全部反對ト云フノ意見、此淺野君ノ三稅案全部反對ノ意見ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 十六名

○委員長(栗原亮一君) 總員ハ四十三名デアリマシテ、今ノ説ニ賛成ノ諸君ハ十六名デ少數デアリマス——次ハ三井君ノ石油稅ニ付テノミ反對ト云フ説ガアリマス、此三井君ノ石油稅反對ノ説ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 十六名

○委員長(栗原亮一君) 起立者十六名デアリマスカラ少數

○大岡育造君 修正ガアリマスガ……

○委員長(栗原亮一君) 修正ヲ此際提議ニナリマスレバ、承リマセウ

○大岡育造君 私ハ酒造稅法中ノ修正ヲ致シタイと思ヒマス、此第五條ヲ全部削除スルノデアリマス、其意味ハ第五條ノ分ハ清酒百石、濁酒五十石、燒酎ハ五十石トアルノヲ、清酒二百石、濁酒百石、白酒八十石、味淋ハ三十石、燒酎ハ三十石ニ改ムトアルノヲ全部削除スルノデアリマス、其理由ハ簡單ニ申シマスルト、政府デハ清酒ニ付テ申シマスレバ二百石以上ノ酒屋ヲ成立タシメテ、二百石以下ノ酒屋ヲ四十四年カラ止メサセルト云フ意味ニナッテ居リマスガ、チヨット此表ヲ見ルト二百石以上ノ酒屋家ト云フモノハ二千四百デアツテ、百石以上ノモノハ四千三百二十トアリマス、此多數ハ百石二百石ノ間ノ界デアリマス、之ヲ一時ニ繰上ケテ二百石ニスルト云フコトハ、取扱上好都合デアラウト思ヒマスレドモ、當業者ノ上ヲ考ヘテ見マスルナラバ、ヤハリ現在ノ儘ニ置カレルノガ適當デアラウト信ジマス、因テ此修正ヲ致スノデアリマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○大岡育造君 尙一ツ加ヘテ申シマスガ、唯今ノ趣意カラシテ、附則ニ於テモ其第二項ヲ全部削除致シマス、本法ハ施行前云々ト云フ所デアリマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長(栗原亮一君) 政府ハ説明ガアリマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 説明ハ致シマセヌ

○委員長(栗原亮一君) 唯今大岡君ノ修正動議ハ賛成ガアリマスカラ、起立ニ問ヒマス

○大岡育造君 反對ハ無イヤウデス

○委員長(栗原亮一君) ソレデハ別ニ決ヲ採リマセヌ、大岡君ノ發議ノ通り決シマス
○久保伊一郎君 私モ修正ガアリマス、私ハ此場合ニ於テ酒造稅法ノ第六條ヲ修正致シタイと思フ、ソレト第八條モ修正ヲ致シタイ、酒造稅法ノ第六條ハ即チ酒造稅ノ納期デアリマスガ、現行法ニ據リマスルト、第六條ノ納期ハ翌年三月十六日ヨリ同三十一日ニ至ルトアリマスノデ、ソレヲ翌年五月十六日ヨリ同三十一日限ト云フコトニ修正致シタイデアリマス、其他ハ現行法規定ノ通り、ソレカラ第八條ノ第三項ニ於テ「但清酒ニ限リ命令ノ定ムルトコロニ依リ査定石數百分ノ二以內ノ洋引減量控除スルコト

ヲ得「トアリマス、滓引減量ノ其間ニ持ッテ行キマシテ、」竝ニ其年五月一日ノ現在ニ依リ百分ノ三以內ノ火入減量「ト云フ文字ヲ加ヘタイノデアリマス、其修正ノ理由ヲ述ベマス、此酒造家ノ最モ困難トスルコロハ、納税ノコトガ一番苦痛ヲ致シマスルノデ、固ヨリ間接税デアリマスカラ消費額ニ課スルノデ、酒造家ハ唯取次スルノニ過ギヌデアリマスガ、今日ノ如ク段々此酒造税ガ増加ヲ致シマスルト云フ結果ガ、一面ニハ納税保證トナリ、一面ニハ其消費者カラ所謂賣掛代金トシテ取集メマシテ、サウシテ納税ヲ致スノデ、丁度此第四期ノ納税期ガ三月三十一日限リニナッテ居リマスルノガ、最モ酒造家ノ釀造期ノ肝腎ナ場合デアリマシテ、資金ノ調達上大ニ困難ヲスル時デアリマスカラシテ、滿二箇月ヲ延ベマシテ、ツマリ三月三十一日限トアルノヲ、五月三十一日限リト致シテ、酒造家ノ困難ヲ救フト云フガ最モ當ラ得タコトハ本員ハ信ズルデアリマス、斯ノ如ク改正ヲ致シマスレバ、政府ハ年度替リニナルカラ、此年ノ年度ノ締切ニ因ルト云フ御意見ガアルカモ分リマセヌガ、若シモ會計上ノ御都合ガ惡イト云フコトデアレバ、二箇月間大藏證券ノ發行ナリ或ハ税金ノ繰合セナリヲ致シテ、是等融通ノ途ガ付カヌト云フコトハナカラウト本員ハ信ズルデアリマス、ソレカラ第八條ノ此火入減量二百分ノ三以內ヲ控除スルト云フコトハ、是亦當然ノ事柄デ、法律ガ滓引減量ヲ百分ノ二以內ヲ認メテ居ルデアリマスカラ、是ハ全ク滓引ヲ致シマシタモノニ課税スルデアナクシテ、唯粗絞リヲ致シマシテ、濁リノ持ッテ儘デ査定致シテ、ソレニ課税スルデアリマスカラ、其滓ナルモノハ清酒トシテ販賣スルコトガ出來ヌト云フ所ノ理由ニ依ッテ、現行法ガ認メテ居ルデアリマス、併シソレガ新酒ノ間ニ居ルモノハソレデ宜シト致シタ所デ、火入ヲ致シマシテ販賣スルコトニナリマスレバ、全ク一石ノ酒ガ一石ノ數量ヲ保ツコトガ出來マセヌ、必ズヤ火入ヲ致シマスルト相當ノ石數ニ減量ヲ來スト云フコトハ、既ニ政府ニ於テモ取調ベガ出來テ居ル管デアリマスシ、又是ハ事業上減量ヲスルデアリマス、是亦今回ノ増税ヲ期トシテ一石ハ一石トシテ賣レナイ酒類ニ對シテ尙且ツ一石ノ課税ヲスルコトハ最モ穩當ヲ缺イタコト、思ヒマスカラ、百分ノ三位ノ火入レ減量ヲ控除シテ課税ヲスルコトハ、至極適當ノ事ト思レマスルノデ、今回修正ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス

○委員長(栗原亮一君) ツレデハ久保君ノ修正動議ハ納期ノ三月ヲ五月限リトスル事、第八條ノ第三項ノ火入レ減量百分ノ三以內ヲ控除スルト云フ一點デアリマス

(採決「ト呼フ者アリ」)

○政府委員(水町袈裟六君) 唯今ノ修正ニ對シテ一言反對ノ意見ヲ申シテ置キマス、納期ヲ唯今通り延ベシマス、歲入ニ約二千万ノ缺減ヲ生ジテ參リマス、大藏證券ヲ無限ニ發行スルコトハ出來ヌノデゴザイマス、結局兌換券ノ増發ニ歸着スルコトニナリマスカラ、是ハ絕對ニ御同意ハ出來ヌノデゴザイマス、ソレカラ第二ノ方ハ是ハ實際ニ於キマシテ百分ノ三ノ減税ニ歸シマスカラ、之モ此際ニ於キマシテ御同意致スコトハ出來マセヌ

○委員長(栗原亮一君) 唯今ノ久保君ノ修正動議ニ贊成ノ方ガアリマスカ——贊成諸君ハ起立

起立者 少數

○委員(栗原亮一君) 少數是ハ消ヘマシタ——マダ修正ノ意見ガアリマスカ

(「ナシ」ト呼ビ又「他ハ原案」ト呼フ者アリ)

○委員長(栗原亮一君) ツレデハ此三案ニ附帶シタ所ノ關稅定率法ガアリマスガ是ハ今極リマシタ所ノ法律自然ノ結果デアリマシテ、詰リ此酒ノ稅ガ増スニ付キマシテ、外國ノ輸入品トノ權衡ヲ得ルタメノ改正案デアリマスカラ、是ハ自然ノ結果御異議ハナイモノト認メマス

(「皆異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(栗原亮一君) サウスルト修正ハ第五條中清酒ハ百石云々ト云フダケノ修正デアリマシテ、他ハ原案通りニ決定ヲ致シマス(「附則モ合セテ」ト呼フ者アリ) 是モ酒ト連帶ヲシテ決議シタ積リデアリマス、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト聲起ル)

○委員長(栗原亮一君) 然ラバ只一ノ修正ノミデ他ハ原案通り確定ヲ致シマシタ午後四時五分散會